

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. B-51

部門名： 働き方改革部門	エントリー名： 宮城教育大学附属小学校
活動名：2019 附属小働き方改革 ～研究に重点化した学校経営～	
解決すべき課題： 1 職員の「働き方改革」への意識改革～「減らしてもらい から 自分たちで減らす 改革へ」 2 慢性化している長時間労働の解消 3 公開研究会の参加者の減少による職員の研究へのモチベーションの低下	
目標・方針 1 「働き方改革」を管理職だけの課題とするのではなく、職場全体の共通の課題として受け止める。 2 働き方改革の行動指標を策定し、風通しのよい職場環境の中で一人一人が働きがいのある職場をつくる。	
活動内容： 方針1 日々の教育活動のブラッシュアップ ①日々の教育活動の成果として、子どもの姿で発信できる魅力的な公開研究会への改革 (写真1) ②日々の「継続」と「積み上げ」を大事にした授業と行事の創造 (写真2) 方針2 学びの共同体としての職場環境づくり ③業務改善委員会による行動指標策定と情報交換の場としての談話スペースの改善 (写真3、4) ④ICT 機器の活用による資料のペーパーレス化や校務支援ソフトの運用などの校務改善 (写真5)	
活動の成果： 方針1 日々の教育活動のブラッシュアップ ・子どもたちの心と体の成長及び学力の向上 (グラフ1、2) ・公開研究会の参加者数の増加 (特に一般参加者) (グラフ3、及び写真6) ・職員の仕事へのやりがいの増加 (グラフ4、及び写真7) 方針2 学びの共同体としての職場環境づくり ・HP の改善及びスマホ版 HP による情報発信 (学校からの紙媒体での配布物の削減) (写真8、9) ・IT 機器の活用と校務支援ソフトの導入による仕事の効率化 (写真10) ・在校時間の経年変化 (グラフ5) 及び「早期退庁日」の徹底 ・男性職員の育児休業取得 (平成30年10月～平成31年2月) と計画年休の積極的取得	
アピールポイント (アイデアや工夫) ○管理職からやらされる働き方改革ではなく、全職員が主体的に行う働き方改革へと意識改革が進んだ。 ○公開研究会を学校運営の中心と位置づけ、行事等これまで慣例で行ってきた取り組みを簡素化した。 ○大学と連携し、効率的な校務運営のために ICT 環境を整え、校務支援ソフトを導入した。 ○本校が働き方改革を行っていることを保護者に周知し、今年度から学校通信や学年だよりのペーパーレス化の試行を行った (昨年度同様紙媒体での配布希望数 (30) は全家庭数 (602) の約5%)。	

(写真1)

(写真2)

(写真3)

(写真4)

(写真5)

(写真6)

(写真7)

(写真8)

(グラフ1)

生活と心健康調査アンケート結果から

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学校が楽しい	~	~	~
調子が良い	~	~	~
元気がある	~	~	~
疲れている	~	~	~

(グラフ2)

令和元年度全国学力学習状況調査  
国立校平均との平均正答率の比較

科目	国立	本校
国語	~	~
算数	~	~

(グラフ3)

公開研究会の参加者数の比較

参加者	平成29年	平成30年
参加者	~	~
一般	~	~
学生	~	~

(グラフ4)

「仕事への働きがいを感じない」出現率  
(年間を100)

年度	出現率
平成29年度	~
平成30年度	~

(写真9)

(グラフ5)

在校時間の比較

月	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
4月	~	~	~	~
5月	~	~	~	~
6月	~	~	~	~
7月	~	~	~	~
8月	~	~	~	~
9月	~	~	~	~
10月	~	~	~	~
11月	~	~	~	~
12月	~	~	~	~
1月	~	~	~	~
2月	~	~	~	~
3月	~	~	~	~
平均	~	~	~	~

(写真10)